

(5) 繰越事由一覧（「記号等」）

繰越事由 (記号等)	該当する事例	変更後の計画 の類型
①エ 計画に関する 諸条件 (計画の変更)	- 研究途中に当初予定していた結果を得られないことが判明し、研究内容・方法を見直す必要が生じた場合 - 専門家からの指摘や他に参考とすべき資料の発見により研究方法の見直しが必要となった場合 - 現在の社会情勢を考慮し、研究内容を再検討する必要が生じた場合	調査・実験等のやり直し・再検討 追加調査・実験等 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更
①キ 計画に関する 諸条件 (・・・・・・) ※右欄を参照	(新たな知見の発見) - 研究目的を達成するにあたり、新たな知見を優先して詳細に調べる必要が生じた場合 - 研究目的を達成するにあたり、他の研究グループが国内外で発表した新たな知見を検討する必要が生じた場合 (研究協力者の確保難) - 現地災害の影響により研究協力者の渡航が困難となり、調査日程を再調整する必要が生じた場合 - 雇用情勢の悪化等により、研究対象となる研究協力者の確保が困難となり、調査の着手に遅延が生じた場合 - データ収集に協力いただく者が体調不良により予定していたデータ収集の確保が困難となり、データ解析に遅延が生じた場合 (研究協力者の事情) - 研究協力者の都合により、研究計画への参加が困難となり、代替者の確保等のため研究計画に遅延が生じた場合 - 研究協力者の都合により、研究計画の参加が困難となり、再度、日程調整を行う必要が生じた場合 (研究協力機関の事情) - 急激な社会情勢(経済・治安)の悪化等により研究機関の協力が当初の予定どおり得ることができず、再度、日程調整等を行う必要が生じた場合 - 共同研究を行う予定が、研究協力機関の都合により急遽延期となり、共同研究の実施に遅延が生じた場合	調査・実験等のやり直し・再検討 追加調査・実験等 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更 調査・実験等のやり直し・再検討 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更 調査・実験等のやり直し・再検討 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更 調査・実験等のやり直し・再検討 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更

繰越事由 (記号等)	該当する事例	変更後の計画 の類型
①キ 計画に関する 諸条件 (・・・・・・) ※右欄を参照	(学会等の事情) ・国内外の学会の開催が、主催者等の都合により延期となり、研究成果の取りまとめに遅延が生じた場合 ----- (印刷社・出版社の事情) ・研究成果を取りまとめた論文、書籍等を印刷する印刷者・出版社等の都合により、作業が遅延し、当該論文、書籍等の製本等に遅延が生じた場合 ----- (装置の開発遅延) ・装置開発段階で想定外の不具合が発生し、計画を見直す必要が生じた場合 ・業者からの納入部品の性能不足等により、当初の装置開発計画に遅延が生じた場合 ----- (機器の故障) ・使用予定であった機器が想定外に故障し、その修理のために、実験着手に遅延が生じた場合 ・研究協力機関に設置されている使用予定の機器が故障し、実験計画に遅延が生じた場合 ----- (怪我・病気) ・研究代表者又は研究分担者が体調を崩して入院したため、担当して実施する予定であった実験等の実施に遅延が生じた場合	調査・実験等のやり直し・再検討 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更
⑥オ 資材の入手難 (・・・・・・) ※右欄を参照	(マウス等実験動物の確保難) ・実験に使用するマウスの繁殖・作成が予定どおり進まなかったために、実験着手に遅延が生じた場合 ・作成中の遺伝子改変マウスが想定外の感染事故により使用できなくなり、当初計画に遅延が生じた場合 ----- (資材及び資料の入手難) ・資料提供先の都合により、遺伝子解析に必要な実験動植物の入手が困難となり、実験着手に遅延が生じた場合 ・原因不明の病気や環境の急変等により、実験に使用する植物の入手が困難となり、計画に遅延が生じた場合	調査・実験等のやり直し・再検討 調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更

繰越事由 (記号等)	該当する事例	変更後の計画 の類型
⑦ア 研究に際して の事前調査の 困難	・ 事前調査に当初の予定以上に日数を要し、研究計画に遅延が生じた場合 ・ 事前調査の結果を踏まえ、再度研究計画を見直す必要が生じた場合	調査・実験等のやり直し・再検討 追加調査・実験等
⑦イ 研究方式の決定の困難	・ 研究対象の範囲を広げ、再検討を行う必要が生じた場合 ・ 新たな知見の発見を踏まえ、研究方式を見直す必要が生じた場合 ・ 事前の経過観察等の結果、再度研究方法を見直す必要が生じた場合	調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更
③ア 気象の関係 (豪雨)	・ 豪雨の影響で、観測実験が行えなかった場合 ・ 豪雨の影響で、調査対象地が災害にあった場合	調査・実験等のやり直し・再検討
③イ 気象の関係 (豪雪)	・ 豪雪の影響で、雪崩が頻発し安全性の確保が困難な場合 ・ 豪雪の影響で、観測地域への立ち入りが困難な場合	調査・実験等の期間延長 調査時期等の延期・変更
③ウ 気象の関係 (風浪)	・ 風浪の影響で、調査海域の安全性の確保が困難な場合 ・ 風浪の影響で、調査海域が悪天候となり限定された船舶しか現地へ行けず、その船舶の使用が困難な場合	
③エ 気象の関係 (その他)	・ 上記に準ずる特異的な気象条件等により、調査・実験等の計画に遅延が生じた場合	

【問合せ先及び書類の提出先】

〒100-8959

東京都千代田区霞が関3-2-2

文部科学省研究振興局学術研究助成課研究調整係

TEL: 03-5253-4111 (代表) (内線4089、4318)

メールアドレス: gakjosei@mext.go.jp